

ゾーン毎の将来像と取組イメージ 大通公園西周辺エリア 地域の特徴を生かしたまちづくりの検討

まちづくりの目標を実現していくために、集積する建物やまちの成り立ち等を踏まえて4つのゾーンに区分し、ゾーン毎の将来像と取組イメージを整理しました。

①大通沿道ゾーン

大通沿道ゾーンの範囲イメージ

ゾーンの将来像（方向性）
**大通公園と沿道空間の繋がりを感じ、
 公園や資料館を起点とした
 多様な交流がはぐくまれている**



取組イメージ

①公共の敷地をまちづくりのために活用する

取組のイメージ

- 札幌市資料館の内外のスペース等を活用して、エリアの魅力を発信するようなイベントを実施したり、人々が交流できる空間をつくる。



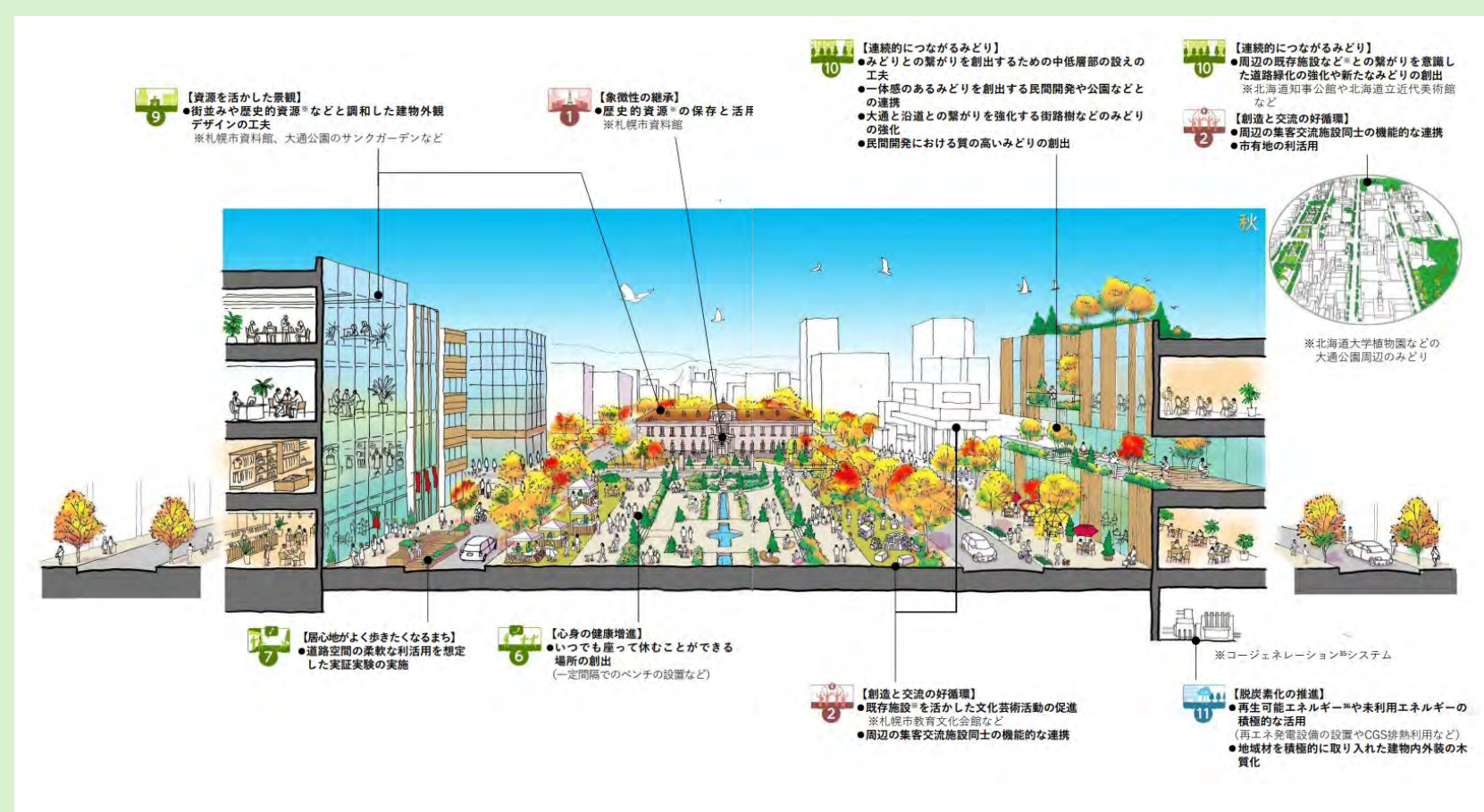
出典：さっぽろまちづくり社Facebook
 永山記念公園で行われた「永山まつり」の様子。

重視したい取組に●（緑）シールを貼ってください

②地域の特徴を生かした、街並みづくりの取組を考える

取組のイメージ

- 大通公園や札幌市資料館などの地域資源や緑豊かな環境を生かした街並みをつくるための取組を地域の皆様と考える。



はぐくみの軸強化方針にて想定されている取組により実現された都市空間のイメージ。

③まちのにぎわいを生み出すための建物ルールを考える

取組のイメージ

- 人が集まりくつろげる公共的なスペースを、大通公園に面した建物低層部に増やしていくためのルールを地域の皆様と考える。



出典：全国まちなか広場研究会

歩道から連続したガラスの屋根付き広場空間。
 （八戸まちなか広場「マチニワ」）